

大会役員

大会名誉会長
大会会長
大会副会長
顧問
大会委員長
大会副委員長
大会委員

堀川 泰宏 (相双バレーボール協会)
荒 功
林 充
狩野 一美 江本 節子
横山 貴司
佐藤 淳
佐藤 憲夫 佐藤 睦 寺島政和
半野 政明 佐藤 龍也 三浦佑基
小迫久美子 久保田 学

競技役員

競技委員長
競技副委員長
競技委員

審判規則委員長
審判規則副委員長
審判規則委員

総務委員長
総務副委員長
総務委員

補助委員
記録報道主任
記録報道委員

小泉 英明
佐藤祐一 猪苧裕志
狩野輝彦 小迫政人 加藤祐樹 林昌一郎
猪狩真由美 目黒文一 馬場安夫 河西哲英
鈴木正人 佐々木美香 門馬美幸 加藤知奈美
佐藤 龍也
佐藤 和重
島裕太郎 小迫久美子 佐藤睦 遠藤景子
佐藤祐一 渡邊武彰 久保田学 佐藤栄一

加藤 大輔
寺島 政和 幕内 富美子 (相双バレーボール協会)
浅川ちあき 牛来秀典 秋元康志 安達貴
三上英司 武田啓子 志賀隆司 佐藤あさみ
村松彩花
各チーム保護者会
各チーム団員
横山 貴司
加藤 大輔

全日本バレーボール小学生大会相双地区大会優勝チーム

回数	年度	月 日	会 場	出場チーム数			男 子	女 子	混 合
				男子	女子	混合			
1	56	5 . 31	中村一中体育館	0	6			中一ジュニア	
2	57	6 . 13	小高勤労者体育館	3	10		新地ジュニア	中二アタッカーズ	
3	58	6 . 19	富岡総合体育館	3	10		中一ジュニア	中一ジュニア	
4	59	6 . 17	双葉中体育館 双葉高校体育館	3	14		新地ジュニア	飯豊ジュニア	
5	60	6 . 16	浪江小体育館	2	18		新地ジュニア	中一ジュニア	
6	61	5 . 18	富岡一小体育館 富岡一中体育館	3	22		新地ジュニア	中一ジュニア	
7	62	6 . 14	浪江東中体育館	4	31		新地ジュニア	浪江ジュニア	
8	63	6 . 12	富岡二中体育館	3	42		新地ジュニア	浪江ジュニア	
9	平成元	6 . 11	富岡・原町・浪江・ 中一・新地体育館	4	40		新地ジュニア	浪江ジュニア	
10	2	6 . 17	浪江・浪江第一・ サンシャイン浪江	5	41		新地ジュニア	富岡ジュニア	
11	3	6 . 9	浪江小体育館 浪江第一体育館	6	40		新地ジュニア	浪江ジュニア	
12	4	6 . 7	浪江小体育館 浪江第一体育館	4	34		駒ヶ嶺ジュニア	相馬東部	
13	5	6 . 13	原町一小・二小・ 三小体育館	6	36		石神二ひばり	富岡ジュニア	
14	6	6 . 12	富岡総合・富岡二小 ・二中体育館	6	38		桜丘ジュニア	福田エンジェ ルス	
15	7	6 . 11	サンシャイン・浪江 小・中村一小体育館	5	35		石神二ひばり	石神二女子	
16	8	6 . 9	原町一小・原町二小・ 石神二小体育館	6	32		石神二ひばり	大熊リトルベ アーズ	
17	9	6 . 15	原町一小・原町二小・ 石神二小体育館	5	30		石神二ひばり	石神二女子	
18	10	6 . 14	原町一小・原町二小・ 石神二小体育館	5	22		磯部白波	金房ジュニア	
19	11	6 . 13	原町三小体育館 中村一小体育館	5	26		石神二ひばり	大熊リトルベ アーズ	
20	12	6 . 4	原町二小体育館 石神二小体育館	5	26		石神二ひばり	金房ジュニア	
21	13	6 . 10	原町三小体育館 石神二小体育館	4	26		尚英ガッツ	小高ジュニア	
22	14	6 . 2	原町二小体育館 石神二小体育館	5	26		尚英ガッツ	金房ジュニア	

[illegible]

開 会 式 次 第

進行 加藤総務委員長

① 開式のことば (理事長)

② 会長あいさつ (会長)

③ 優勝杯返還

男子 若駒クラブ男子

女子 八幡ジュニア

混合 原三バレーボールスポーツ少年団

④ 選手宣誓 大野ジュニア 主将 佐土原蒼大さん

⑤ 会場使用上の注意

⑥ 閉式のことば (林副会長)

トイレ当番 新地ジュニア

会場確認 大野ジュニア

スミセイ Vitality カップ

JVA 第 45 回全日本バレーボール小学生大会 福島県大会相双地区予選会開催要項 (案)

主催	公益財団法人日本バレーボール協会／日本小学生バレーボール連盟／読売新聞社
後援	公益財団法人日本スポーツ協会／日本スポーツ少年団／報知新聞社 福島県／公益財団法人福島県スポーツ協会／福島県スポーツ少年団 新地町教育委員会／福島民友新聞社
特別協賛	住友生命保険相互会社
協賛	ゼビオグループ／デサントジャパン株式会社／株式会社 P & P 浜松／丸大食品株式会社／三井住友信託銀行株式会社
協力	株式会社プレナス
主管	福島県バレーボール協会／福島県小学生バレーボール連盟／相双小学生バレーボール連盟 スミセイ Vitality カップ第 4 5 回全日本バレーボール小学生大会福島県大会実行委員会

1 開催期日 令和 7 年 5 月 31 日 (日) AM 8:05～

2 会場 新地町総合体育館

3 開・閉会式 開会式・令和 7 年 5 月 31 日 (日) 8:40～新地町総合体育館
ただし、表彰はコート表彰とする

4 参加資格

- (1) 2013 年 4 月 2 日以降に生まれた者で、令和 7 年 5 月 1 日現在、国・公・私立小学校および各種学校に在学していること。
- (2) 公益財団法人日本バレーボール協会加盟団体登録規定に基づき、令和 7 年 4 月 1 日以降、福島県大会参加申込締切日までに、公益財団法人日本バレーボール協会-MRS の登録を済ませていること。
なお、福島県スポーツ少年団に加盟しているチームも、同様の手続きを済ませること。
- (3) 福島県小学生バレーボール連盟登録及び競技規定により団体及び指導者登記届の手続きを済ませていること。

5 チーム編成

- (1) 福島県大会 (地区予選を含む) に出場するチームは、監督 1 名、コーチ 2 名まで、マネージャー 1 名、選手については 14 名以内とする。
- (2) 都道府県大会に出場するチームは、監督、コーチ、マネージャーは同一団体に限り変更できる。選手については、同一団体内で参加資格を満たしているものであれば、ブロック大会・地区大会時と違う選手に交代してもよい。ただし、同一団体であっても、他の部門に参加している場合には、大会期間中 (予選から本大会) は他のチームの構成員として参加することはできない。同じ部門に 2 チーム参加している場合には、A チームのメンバーが 14 名に満たない場合は B チームのメンバーから追加できる。
- (3) 他都道府県在住であって、新年度の登録の際に移籍登録した選手はベンチには 3 分の 1 以内とする。また、コート上には 2 名以内とする。他都道府県在住であっても、前年度までに登録していればこの制限の対象とはならない。監督は試合前に、新年度移籍登録選手の番号を審判員と確認しておくこと。
- (4) 監督・コーチは成人であること。又、ベンチスタッフの 1 名以上は日本小学生バレーボール連盟主催の指導者講習会 (一次・二次のいずれか) を受講した者、または公益財団法人日本スポーツ協会認定バレーボールのスターコートコーチ・コーチ 1～4 のいずれかの資格取得者が日本小学生バレーボール連盟認定指導者でなければならない。
又、試合時には証明書等を胸にさげていなければならない。
- (5) 成人のベンチスタッフは、日常子供たちの健全育成を目指して指導に当たっていると福島県大会実行委員会が認めた者であること。暴力、暴言、セクシャルハラスメント等、指導者として不適切な行為を行っている者の出場は認めない。
- (6) ベンチスタッフは、JVA-MRS に登録され、且つ、宣誓書に署名した者に限る。
(MRS に役員登録している方もチームスタッフとしての登録が必要。) 監督、コーチ、マネージャーの服装は短パン、Tシャツは不可とし、監督、コーチ、マネージャー章を各チーム側で用意し、必ず左胸に付けること。
但し、小学生がベンチスタッフとして入る場合は、短パン、Tシャツを認める。Tシャツの色は他のベンチスタッフと違ってよい。
- (7) 混合の部では、コート内に男子及び女子が常に 1 人以上いること。

6 競技規則

令和 7 年度、公益財団法人日本バレーボール協会の定める 6 人制競技規則による。
但し、別に定める小学生バレーボール競技規則を採用する。

7 競技方法

男子の部・混合の部 リーグ戦 (男子の部は代表順位決定戦となる)

女子の部 予選リーグ戦の後に上位チームによる代表決定トーナメント

各カテゴリー県大会出場チーム数は確定次第連絡する

8 使用球

公益財団法人日本バレーボール協会が公認する人工皮革軽量4号球カラーボール（円周 62～64cm 重量 200～220g）、ボールの内気圧については6人制競技規則に準ずる。

男子・混合：「モルテンボール（V4M5000-L）」

女子：「ミカサボール（MVA500）」

9 競技服装

選手の背番号は1～99とするが、1～14番が望ましい。

ユニホームの背番号の色は、ルールに則って地の色と対照的な色を使用し誰もが見え易いものにする。混合チームのユニホームは、男女で違うユニホームを着用し、番号が重ならないようにする。

しかし、違うユニホームを用意できない場合は、同一ユニホームでも構わないが、男子・女子のいずれかが識別用バンドを腕か足首に付けるか、ソックスの色で区別できるようにすること。

10 表彰

男子・女子・は3位まで混合は2位まで表彰する。

☆ 優勝チーム：賞状、カップ（持ち回り）

☆ 準優勝チーム：賞状

☆ 第三位チーム：賞状

11 申込み方法

メール添付されているオーダー申し込みに記載後、小泉競技委員長へ送付願います

申し込みに関する問い合わせ先

相双小学生バレーボール連盟
競技委員長 小泉英明 まで
TEL 090-2971-1565

12 申込み締切 令和7年5月2日（水） 必着

13 代表者会議 令和7年5月21日（水）相馬市中央公民館 19：00～

14 組合せ 令和7年5月21日（予定）に代表者会議で抽選を行う。

15 その他

（1）監督・コーチ・マネージャー章は、チームで用意する。

（2）傷害保険への加入については、各チームで加入する。

16 参加費

全カテゴリー2,000円を参加費として大会当日徴収します。

*県大会出場が決定したチームは県大会参加費 6000円運営費 3000円を徴収します。

※「本大会に関する問合せ先」

〔競技に関すること〕 競技委員長 小泉英明 TEL 090-8255-5780 携帯

〔大会全般について〕 理事長 横山貴司 TEL 090-8789-0649 携帯

今年の大会テーマは

「 君がヒーロー 君もヒロイン

～ みんな主役だ 全小バレー ～ 」

スミセイ Vitality カップ

JVA 第 45 回全日本バレーボール小学生大会 福島県大会開催要項 (案)

主 催	公益財団法人日本バレーボール協会／日本小学生バレーボール連盟／読売新聞社
後 援	公益財団法人日本スポーツ協会／日本スポーツ少年団／報知新聞社 福島県／公益財団法人福島県スポーツ協会／福島県スポーツ少年団 会津若松市教育委員会／福島民友新聞社
特別協賛	住友生命保険相互会社
協 賛	ゼビオグループ／デサントジャパン株式会社／株式会社 P & P 浜松／丸大食品株式会社／三井住友信託銀行株式会社
協 力	株式会社プレナス
主 管	福島県バレーボール協会／福島県小学生バレーボール連盟 スミセイ Vitality カップ第 4 5 回全日本バレーボール小学生大会福島県大会実行委員会

- 1 開催期日 令和 7 年 6 月 2 1 日 (土) ～ 2 2 日 (日) AM 8 : 0 0 ～
- 2 会 場 あいづ総合体育館・鶴ヶ城体育館・河東総合体育館
- 3 開・閉会式 開会式・令和 7 年 6 月 2 1 日 (土) 8 : 4 0 ～あいづ総合体育館
ただし、表彰はコート表彰とする
- 4 参加資格
 - (1) 2 0 1 3 年 4 月 2 日以降に生まれた者で、令和 7 年 5 月 1 日現在、国・公・私立小学校および各種学校に在学していること。
 - (2) 公益財団法人日本バレーボール協会加盟団体登録規定に基づき、令和 7 年 4 月 1 日以降、福島県大会参加申込締切日までに、公益財団法人日本バレーボール協会-MRS の登録を済ませていること。
なお、福島県スポーツ少年団に加盟しているチームも、同様の手続きを済ませること。
 - (3) 福島県小学生バレーボール連盟登録及び競技規定により団体及び指導者登記届の手続きを済ませていること。
- 5 チーム編成
 - (1) 福島県大会 (地区予選を含む) に出場するチームは、監督 1 名、コーチ 2 名まで、マネージャー 1 名、選手については 1 4 名以内とする。
 - (2) 都道府県大会に出場するチームは、監督、コーチ、マネージャーは同一団体に限り変更できる。選手については、同一団体内で参加資格を満たしているものであれば、ブロック大会・地区大会時と違う選手に交代してもよい。ただし、同一団体であっても、他の部門に参加している場合には、大会期間中 (予選から本大会) は他のチームの構成員として参加することはできない。同じ部門に複数チームが参加している場合においては、上位大会に参加申し込みする際に、敗戦したチームのメンバーも含めて 1 チームに編成し直して申し込みすることができる。
※ 全国大会においても同一団体内で参加資格を有しているものであれば、都道府県大会時と違う選手に交代してもよい。
 - (3) 他都道府県在住であって、新年度の登録の際に移籍登録した選手はベンチには 3 分の 1 以内とする。また、コート上には 2 名以内とする。他都道府県在住であっても、前年度までに登録していればこの制限の対象とはならない。監督は試合前に、新年度移籍登録選手の番号を審判員と確認しておくこと。
 - (4) 監督・コーチは成人であること。又、ベンチスタッフの 1 名以上は日本小学生バレーボール連盟主催の指導者講習会 (一次・二次のいずれか) を受講した者、または公益財団法人日本スポーツ協会認定バレーボールのスタートコーチ・コーチ 1～4 のいずれかの資格取得者か日本小学生バレーボール連盟認定指導者でなければならない。
又、試合時には証明書等を胸にさげていなければならない。
 - (5) 成人のベンチスタッフは、日常子供たちの健全育成を目指して指導に当たっていると福島県大会実行委員会が認めた者であること。暴力、暴言、セクシャルハラスメント等、指導者として不適切な行為を行っている者の出場は認めない。
 - (6) ベンチスタッフは、JVA-MRS に登録され、且つ、宣誓書に署名した者に限る。
(MRS に役員登録している方もチームスタッフとしての登録が必要。) 監督、コーチ、マネージャーの服装は短パン、T シャツは不可とし、監督、コーチ、マネージャー章を各チーム側で用意し、必ず左胸に付けること。
但し、小学生がベンチスタッフとして入る場合は、短パン、T シャツを認める。T シャツの色は他のベンチスタッフと違ってよい。
 - (7) 混合の部では、コート内に男子及び女子が常に 1 人以上いること。
- 6 競技規則

令和7年度、公益財団法人日本バレーボール協会の定める6人制競技規則による。
但し、別に定める小学生バレーボール競技規則を採用する。

7 競技方法

各地区の予選会に出場し資格を取得したチームにより決勝トーナメント方式等で行う。

【各地区のチーム出場数、各地区出場数により決定する。】

	県北	県南	いわき	相双	会津	計
男子	4	2	1	3	2	12
女子	5	5	2	4	8	24
混合	8	7	4	2	3	24

8 使用球

公益財団法人日本バレーボール協会が公認する人工皮革軽量4号球カラーボール（円周 62～64cm 重量 200～220g）、ボールの内気圧については6人制競技規則に準ずる。

男子・混合：「モルテンボール（V4M5000-L）」

女子：「ミカサボール（MVA500）」

9 競技服装

選手の背番号は1～99とするが、1～14番が望ましい。

ユニホームの背番号の色は、ルールに則って地の色と対照的な色を使用し誰もが見え易いものにする。混合チームのユニホームは、男女で違うユニホームを着用し、番号が重ならないようにする。

しかし、違うユニホームを用意できない場合は、同一ユニホームでも構わないが、男子・女子のいずれかが識別用バンドを腕か足首に付けるか、ソックスの色で区別できるようにすること。

10 表彰

「男子・女子・混合」共各1～3位まで表彰する。

☆ 優勝チーム：賞状、カップ（持ち回り）

☆ 準優勝チーム：賞状

☆ 第三位チーム：賞状

11 申込み方法

下記の3点（同一エントリーメンバー）を記載し申し込む

①都道府県大会参加申込書（EXCELデータ）

日本（または福島県）小学生バレーボール連盟ホームページよりダウンロードし作成する。

なお、「都道府県参加申込書の記入について」を参照すること。

②公益財団法人日本バレーボール協会のMRS登録システムからの申し込み

③プログラム作成用申込書

福島県小学生バレーボール連盟所定の申込様式（EXCELデータ）に入力し電子データとして、別紙の方法にて申し込むこと。

※ 申し込みは各地区競技委員長が取りまとめ確認をしたのち、県小連競技委員長に提出すること。

申し込みに関する問い合わせ先

福島県小学生バレーボール連盟
競技委員長 菅野 裕 まで
TEL 090-2971-1565

12 参加料 1チーム 6,000円 運営協力金 3,000円 合計 9,000円

13 申込み締切 令和7年5月28日（水）必着

14 代表者会議 令和7年6月21日（土）あいづ総合体育館 8:15～

15 組合せ 5月31日（予定）に競技委員会で抽選を行い、出場各チームに連絡する。

16 その他

（1）監督・コーチ・マネージャー章は、チームで用意する。

（2）傷害保険への加入については、各チームで加入する。

※「本大会に関する問合せ先」

【競技に関すること】 競技委員長 菅野 裕 TEL 090-2971-1565 携帯

【大会全般について】 理事長 鈴木 一 弘 TEL 090-1490-8626 携帯

今年の大会テーマは

「 君がヒーロー 君もヒロイン
～ みんな主役だ 全小バレー ～ 」

競技上の注意事項

1. 本大会は、特別に定める小学生のためのルール「フリーポジション制」とスコアリングシステムは、小学生のための21点制ラリーポイントシステム（3セット目は、15点ラリーポイントシステム）を用いる。

その他は、令和2年度（財）日本バレーボール協会の定める6人制競技規則による。

（全国審判規則委員会の申し合わせ事項から）

サーブ順を間違えて、違うサーバーが出てきた場合は、記録の方で教え正しいサーバーに打たせる。

もし、記録が間違えて教え、ロングサーバーになってしまった場合は、記録の責任ではなくチームの責任とする。

2. 試合は、すべて3セットマッチとする。
3. 競技開始時刻は、第1試合を開会式終了後と設定する。また、設定のそれぞれの時刻は、ホイッスルの時刻とする。

試合開始の時刻の設定のない第2試合以降については、前の試合終了後、両チームの合同共通練習5分後、プロトコールに入るものとする。（追込み方式）

連続して試合をするチームがある場合は、最大15分間の休憩をとる。
4. 試合開始時刻15分を経過しても開始できない場合は、当該チームを棄権として取り扱います。
5. チームの構成は、監督・コーチ・マネージャー各1名、選手14名以内とする。

（注1） 監督・コーチ・マネージャーのうち1名は成人であること。

（注2） 監督・コーチ・マネージャーは、2チームを兼任することはできない。

6. 監督・コーチ・マネージャーのマークは規定のものを用い、必ず左胸部につけること。

また、全国小学生指導者講習会（平成5年度以降）受講証明書または、日体協認定指導員の資格証を、試合開始前に主審に提示し、試合中に携帯すること。

7. エントリーの変更（番号の変更及び誤字などの訂正を含む）は、参加資格に反しないことを条件に、所定の手続きを代表者会議終了時まで完了しなければならない。提出後の変更は一切

認めない。(変更がない場合も全チーム提出すること。地区大会第1日目は、運営責任者へ)

8. コートのワイピングは、危険な場所は審判が指示するが、それ以外はなるべく選手によって速やかにワイピングをするようにする。(セット間は補欠の選手でも可)
9. 試合開始・終了時のあいさつは、選手全員で行う。しかし、ベンチへのあいさつはしないで、速やかにコートから退出すること。
10. 空きコートでの練習はウォーミングアップのみとする。
11. 競技場のフロアーには、試合中と次の試合で待機しているチーム以外は入場しないこと。
12. ベンチには、飲料水と医薬品等の試合に関係するもの以外は、持ち込まないようにすること。
13. 補助員(記録・線審・点示)については、全試合小学生が行う。
14. 各チームの応援旗・幕は自チームの試合のときのみとする。
15. 会場の使用上の注意を遵守すること。特にごみの持ち帰り。

(借りたときよりも美しく)

(付記) 開会式は、全チーム参加し、ユニホームとする。(原則として短パンとする。)

＜競技をする上での追加留意事項＞

1. 試合数が、多いために試合間のデットタイムを無くすようにすること。追い込み方式の場合は、全試合の終了のホイッスル（第2または第3セットの終了のホイッスル）

共通合同練習



（5分間）

プロトコール

○試合が連続する場合

前試合の終了のホイッスル（第2または第3セットの終了のホイッスル）



（10分間休憩時間）

共通練習開始



（5分間）

プロトコール開始



（11分間）

試合開始（第1セット開始のホイッスル）

2. 4チームのブロックリーグ戦の場合は、試合が連続（審判も含む）しているために昼食をとることができないこともありうるので、コート毎に全体で昼食の時間をとってもよい。その場合は、各コートの進行状況を見て、第3試合または第4試合の終了後20～30分程度の休憩をとってもよい。

＜付 記＞

1. 監督・コーチ・マネージャーは、第1日目の代表者打ち合わせ会で提出されたエントリー変更後は一切の変更を認めない。大会期間中の2日間は、同じメンバー構成になる。
監督不在の場合は、コーチが監督を代行できる。その際は、コーチとしてであり、監督に変更されたわけではない。（監督でない場合は、試合のときタイムを取ることはできない。）
2. 2日間の大会期間中ベンチには、必ず1名は成人がいること。

3. 試合中に、ベンチに入れるものは、監督・コーチ・マネージャーと選手14名で合計17名だけであるその他の者は、ベンチの後ろ等で応援することなく所定の場所で応援すること。
4. 審判、及びラインズマン、記録、点示についても、ベンチや観衆などから誤解を招くことのないようにするために、指導者も含めて事前に練習したり、子供への指導徹底をしておくこと。
5. 会場の使用については、大人の責任によりマナーを守ること。

○ゴミの持ち帰り

○土足の厳禁

○トイレの使用

プロトコール(試合開始前・セット間及び終了後の手順)

<試合開始前>

(2024年版ルールブックによる)

試合前	チ ャ ム	主 審 ・ 副 審
	両審判員のネット等のチェック時は、ネットを使用せずにウォームアップをすることができる。	両審判員は、ネットの高さ、張り具合、アンテナの位置及びサイドバンドの位置をチェックする。
11分前	監督とチームキャプテンは、トスのためスコアラーズテーブルへ行く。トスの後、記録用紙にサインする。	主審は、スコアラーズテーブル前で、副審を立ち合わせてトスを行う。両チームの監督とチームキャプテンを記録用紙へのサインのため、スコアラーズテーブルに導く。
10分前	両チームが一緒か、または個別に(サービス権を得たチームから)公式ウォームアップを開始する。	主審は、公式ウォームアップ開始をホイッスルする。そして、ボール、記録用紙、ブザー、ユニフォームなどゲームに必要な道具をチェックする。ラインジャッジ、ボールリトリバー、モップと打ち合わせを行う。副審は、公式ウォームアップの計時を行う。
7分前	個別にウォームアップを行っている場合は、交替する。	副審は、各チームが個別に公式ウォームアップを行っている場合は、その交替をホイッスルで合図する。
4分前	公式ウォームアップを終了し、各チームのメンバーは速やかにベンチにもどる。	主審は、公式ウォームアップの終了をホイッスルする。
3分前	全プレーヤーは、エンドライン上に整列する。主審のホイッスルでネット付近で最初に両チームキャプテンが握手する。そして、チームメンバーが続いて握手する。その後、各チームのメンバーはベンチに戻り、スタディングプレーヤーは、ユニフォーム姿で待機する。	主審は、両チームプレーヤーをエンドライン上に導く。主審と副審は審判台の前で、ネットをはさんでスコアラーズ側から見て、左側に主審、右側に副審が位置する。両チームが整列したら、挨拶(握手)を交わすようホイッスルする。審判役員はそれぞれの定位置につく。
1分30秒前	主審のホイッスルで、スターティングプレーヤーはベンチから直接コートに入る。	主審はホイッスルで、プレーヤーをコート内へ導く。副審は、サービスゾーンの4カ所のコーナーに位置しているボールリトリバーにボールを1つずつ送る。副審およびスコアラーはそれぞれスターティングラインアップを照会する。その後、副審は、ボールを最初のサーバーに送る。
0分前	最初のサーバーは、主審のサービス許可のホイッスルによりサービスを行う。	主審は、サービス許可のホイッスルをする。

<セット間>

試合前	チ ャ ム	主 審 ・ 副 審
セット終了時	セットが終了したら、コート上のプレーヤーはエンドライン上に整列する。プレーヤーは主審のホイッスルで、向かって右側のサイドラインに沿って進み、支柱の外側を通過したら直接それぞれのベンチに戻る。	主審は、両チームのプレーヤーがエンドライン上に整列したら、コートチェンジするようホイッスルとシグナルで合図する。
2分30秒後	プレーヤーは、副審のホイッスルにより、ベンチから直接コートに入る。	副審は、記録員の合図を受けて両チームにコートに入るようホイッスルで合図する。副審と記録員は、その後直ちに、スターティングラインアップを照会する。

<最終セットのコートチェンジ>

試合前	チ ャ ム	主 審 ・ 副 審
いずれかのチームが8点目を先取した時	コート上のプレーヤーは、エンドライン上に整列し、主審のホイッスルとシグナルで向かって右側の支柱の外側をまわりコートを交替する。	主審は、コート上のプレーヤーをエンドライン上に整列させ、コートチェンジするようホイッスルとシグナルで合図する。

<試合終了後>

試合前	チ ャ ム	主 審 ・ 副 審
速やかに	試合が終了したら、コート上のプレーヤーはエンドライン上に整列し、主審のホイッスルで、ネットに近づき相手チームと挨拶(握手)を交わす。チームキャプテンは、主審と副審に感謝の握手をする。そして、記録用紙にサインする。チームは直ちにベンチから退出する。	主審は、コート上のプレーヤーをエンドライン上に整列させる。主審は、審判台を降り、副審が審判台右側の定位置についたらホイッスルで、両チームに挨拶(握手)をさせる。そして、両方のチームキャプテンを伴ってスコアラーズテーブルに行き、記録用紙にサインさせ、その後、スコアラーの記録用紙への記入を完了させる。

※ 個々の大会において必要と認めた場合は、プロトコールの下記の点を変更してもよい。

- 1 ワンボールによる試合の場合は、ボールリトリバーに関するプロトコールを省略する。
- 2 ワンボールによる試合の場合には、副審は、セット間の中断、コートの交替、およびタイムアウトのときにボールを保管し、試合再開時にサーバーに渡す。

会場使用上の注意

1. 会場では、下足と上履きの区別を明確にすること。
特に、雨天時の下足・雨具等は、ビニール袋等に入れ、各自保管すること。
万一紛失しても主催者では、一切責任を負わない。
2. アリーナには、直接試合に関係あるもの以外は入場しないこと。
3. 会場では、指定された以外に絶対入らないこと。
4. 喫煙については、指定された場所以外では喫煙しないこと。
5. 更衣室は、特別に使用しない。
6. 各チームとも貴重品の保管に十分注意すること。
物品等の紛失については、主催者側では責任を負わない。
7. 各チームとも会場から退去する際、自チームのゴミ等をきちんと処理し持ち帰ること。
8. トイレの使い方については、掃除をする方の身になり、十分注意すること。
9. 応援の仕方とマナー、飲食物等の後始末をきちんとすること。
10. 駐車場については、指定された以外には駐車しないこと。
特に、体育館周辺の路上駐車は禁止になっています。

※ 以上について監督・指導者責任において指示徹底を図る。

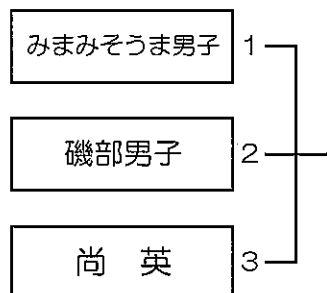
第45回全日本バレーボール小学生大会相双地区大会参加申し込み一覧

6人制男子		6人制女子		男女混合	
番号	チーム名	番号	チーム名	番号	チーム名
1	磯部男子	1	飯豊みずほ	1	大野
2	尚英	2	磯部女子	2	高平
3	みなみそうま男子	3	川内	3	原三
		4	新地	4	若駒
		5	南相馬 jr		
		6	八幡		

第45回全日本バレーボール小学生大会相双地区大会（男子の部）

令和7年5月31日

【男子の部】



男子の結果

1位	みなみそうま男子
2位	磯部白波クラブ男子
3位	尚英ガッツJVC

Aコート（短管）

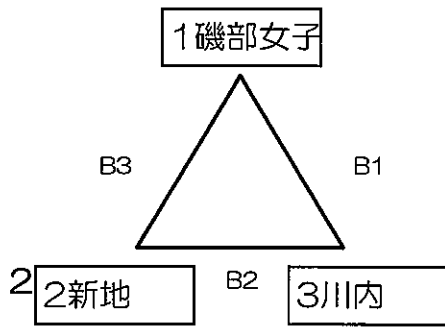
順序	チーム名	点 数	チーム名	審判チーム
1	みなみそう ま 男 子	21 - 12 21 - 7 -	尚 英	磯 部
2	磯 部	21 - 10 21 - 8 -	尚 英	みなみそう ま 男 子
3	みなみそう ま 男 子	23 - 21 21 - 14 -	磯 部	尚 英

会 場	会場責任者	コート	コントローラー	備考
新地総合体育館	寺島正和	A	猪狩祐志	

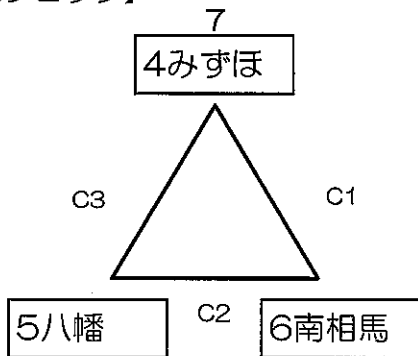
第45回全日本バレーボール小学生大会相双地区大会（女子の部）

令和7年5月31日

【Aブロック】

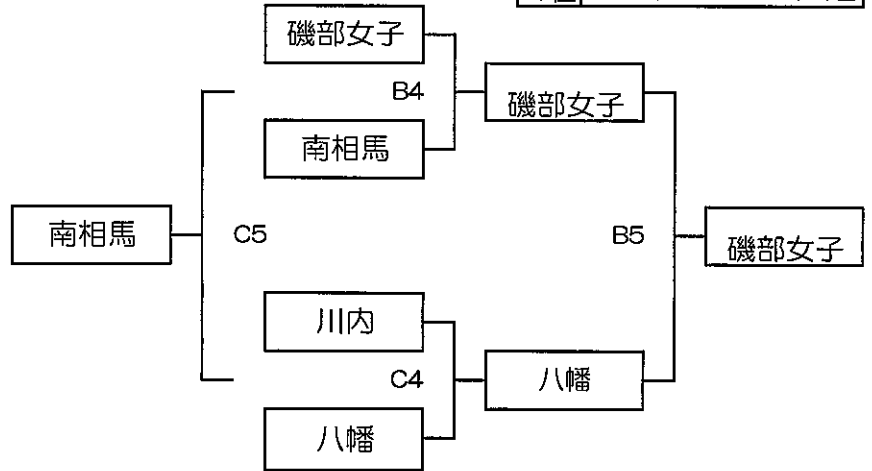


【Bブロック】



女子の結果

1位	磯部白波クラブ女子
2位	八幡ジュニアバレーボールクラブ
3位	南相馬Jr.
4位	川内はやぶさスポーツ少年団



Bコート（長管）

Cコート（短管）

順序	チーム名	点 数	チーム名	審判チーム	順序	チーム名	点 数	チーム名	審判チーム
1	磯部女子	21 - 4 21 - 4 -	川 内	新地	1	み ず ほ	12 - 21 21 - 13 15 - 17	南 相 馬	八 幡
2	新 地	15 - 21 21 - 19 8 - 15	川 内	磯部女子	2	八 幡	14 - 21 21 - 16 15 - 10	南 相 馬	み ず ほ
3	磯部女子	21 - 3 21 - 5 -	新 地	川内	3	み ず ほ	15 - 21 22 - 20 15 - 11	八 幡	南 相 馬
4	磯部女子	21 - 10 21 - 4 -	南相馬	新地	4	八 幡	21 - 5 21 - 6 -	川 内	みずほ
5	磯部女子	21 - 10 21 - 13 -	八幡	新地	5	南相馬	21 - 9 21 - 17 -	川 内	みずほ

会 場	会場責任者	コート	コントローラー	備考
新地総合体育館	寺島正和	B	半野正明	
		C	佐藤睦	

※会場開館及び会場設営→8：05 代表者会議→8:20 開会式→8：45 試合開始→9:20

第45回全日本バレーボール小学生大会相双地区大会（混合の部）

令和7年5月31日

【混合の部】

若 駒	1
原 三	2
大 野	3
高 平	4

混合の結果

1 位	若駒クラブ
2 位	原三バレーボールスポーツ少年団

Dコート（長管）

順序	チーム名	点 数	チーム名	審判チーム
1	若 駒	21 - 9	大 野	原三・高平
		21 - 5		
		-		
2	原 三	21 - 2	高 平	若駒・大野
		21 - 9		
		-		
3	若 駒	21 - 3	高 平	原 三
		21 - 4		
		-		
4	原 三	21 - 12	大 野	高 平
		21 - 12		
		-		
5	若 駒	21 - 4	原 三	大 野
		21 - 8		
		-		
6	大 野	21 - 5	高 平	若 駒
		21 - 11		
		-		

会 場	会場責任者	コート	コントローラー	備考
新地総合体育館	寺島正和	D	佐藤祐一	

※ 会場開館及び会場設営→8：05 代表者会議→8:20 開会式→8：45 試合開始→9:20